ミーティングポイント（サインスタンド）

Meeting Point



中之島13カ所に点在するミーティングポイント（サインスタンド）は、バーチャルとリアルを組み合わせ、それぞれのポイントを巡ることで、不特定多数の人々とのコミュニケーションや双方向の情報収集によって中之島の新たな魅力を発見することが期待できるメディアです。ウィズコロナ時代の新たな芸術体験の可能性を探求します。目印として記されるロゴマークはクリエイティブアイランド中之島の実験的なプロジェクトを、水面に“たゆたう”活動体として可視化し、川と川の間に浮かんだ中之島をイメージしています。クリエイティブユニット・grafによるデザイン設計。

クリエイティブコンテンツ

Creative Contents

「中之島プロモーション」は、中之島のユニークベニューを舞台に、国内外で活躍するアーティストのディレクションによってコンテンツを繰り広げます。今年度のゲストアーティストには、独特の言語・身体表現を通じて現代社会を捉えた作品を世界各地で発表し続ける、演劇カンパニー・チェルフィッチュ主宰の岡田利規氏を迎え、ミーティングポイントを活用した実験的なプロジェクトを展開します。
2018年度の中之島フィールドリサーチで、中之島の最西端の空白地帯「西の鼻」をモチーフにした劇作を構想した岡田氏は、今年度、ミーティングポイントの活用に関するトークを皮切りに、不特定多数の人々と交わす言葉・文字によるコミュニケーションを使ったクリエーションの可能性を探ります。
本プロジェクトでは、ミーティングポイントを情報発信ツールとしてだけではなく、情報と人々の言葉が交差する地点として設定。ミーティングポイントに設置された言葉と街を巡ることで中之島の新たな体験を創出することを試みます。

岡田利規（おかだ・としき）
1973年横浜生まれ、熊本在住。演劇作家、小説家、チェルフィッチュ主宰。活動は従来の演劇の概念を覆すとみなされ国内外で注目される。主な受賞歴は『三月の５日間』で第49回岸田國士戯曲賞、小説集『わたしたちに許された特別な時間の終わり』で第２回大江健三郎賞、『プラータナー：憑依のポートレート』で第27回読売演劇大賞 選考委員特別賞、『未練の幽霊と怪物　挫波／敦賀』で第72回読売文学賞　戯曲・シナリオ賞を受賞。主な著書は『週行　変形していくための演劇論』、『現在地』（共に河出書房新社）など。2016年よりドイツ有数の公立劇場ミュンヘン・カンマーシュピーレのレパートリー作品の演出を４シーズン務め、2020年に最新作『The Vacuum Cleaner』がドイツの演劇祭Theatertreffenの“注目すべき10作品”に選出された。



©Kikuko Usuyama

cl マークはミーティングポイント設置場所

会場／ミーティングポイント設置場所

- a. こども本の森 中之島
- b. 大阪市立東洋陶磁美術館 cl
- c. アートエリアB1 cl
- d. 大阪市中央公会堂 cl
- e. 大阪府立中之島図書館 cl
- f. フェスティバルホール／フェスティバルタワー cl
- g. 中之島香雪美術館／フェスティバルタワーウエスト cl
- h. 大阪中之島美術館 cl
- i. 国立国際美術館 cl
- j. 大阪市立科学館 cl
- k. graf cl
- l. 大阪大学中之島センター
- m. リーガロイヤルホテル（大阪） cl
- n. 大阪府立国際会議場 cl
- o. 中之島センタービル（ホテルNCB） cl



構成団体


a. こども本の森 中之島


b. 大阪市立東洋陶磁美術館


c. アートエリアB1


d. 大阪市中央公会堂


f. フェスティバルホール


g. 中之島香雪美術館


h. 大阪中之島美術館


i. 国立国際美術館


j. 大阪市立科学館


k. graf


l. 大阪大学中之島センター


n. 大阪府立国際会議場

お問い合わせ

クリエイティブアイランド中之島 事務局（アートエリアB1内）
TEL：06-6226-4006（12:00～19:00）／月曜休館（祝日の場合は翌日）／ E-mail：mail@artarea-b1.jp

新型コロナウイルス感染防止対策について
○実来場での観覧を予定しているプログラムは、今後の感染状況によっては、中止またはオンライン配信のみに変更となる場合があります。ご来場の際には、ウェブサイトにて最新情報をご確認ください。○各会場では、感染防止対策を行った上でプログラムを開催いたします。○ご来場のお客様は、以下についてあらかじめご了承くださいますようお願いいたします。○マスクを着用されていない方のご入場はお断りさせていただきます。○体調がすぐれない方、過去２週間以内に発熱等の症状があった方や感染が拡大地域への渡航歴がある方は、ご来場をご遠慮ください。○ご来場時の検温にて、37.5度以上の発熱が確認された場合は、ご入場をお断りいたします。

文化庁委託事業「令和３年度戦略的芸術文化創造推進事業」
主催｜クリエイティブアイランド中之島実行委員会、文化庁　運営組織｜クリエイティブアイランド中之島実行委員会
〈構成団体〉大阪府立国際会議場、大阪市中央公会堂、大阪市立科学館、大阪市立東洋陶磁美術館、大阪大学・ダンスボックス・京阪ホールディングス（アートエリアB1）、大阪中之島美術館、graf、国立国際美術館、こども本の森 中之島、中之島香雪美術館、中之島まちみらい協議会、フェスティバルホール

文化庁

クリエイティブアイランド中之島
創造的な実験島

Creative Island Nakanoshima

国内
最大規模の
創造
ネットワーク
始動

http://nakanoshimalab.jp

2022. 2.2 wed.– 13 sun.

大阪府立国際会議場、大阪市中央公会堂、大阪市立科学館、大阪市立東洋陶磁美術館
大阪中之島美術館、graf、国立国際美術館、こども本の森 中之島、中之島香雪美術館
中之島まちみらい協議会、フェスティバルホール、大阪大学・ダンスボックス・京阪ホールディングス（アートエリアB1）



協力：中之島まちみらい協議会／写真提供：朝日新聞

水都大阪を象徴する“中之島”は、文化施設や歴史的建造物、企業の高層ビルと、公園や川が共存する他に類を見ない都市の中州であり、パリのシテ島、ベルリンのムゼウムス・インゼルのように世界に誇る国際的な文化資産に満ちています。「クリエイティブアイランド中之島」は、中之島に関わる14機関による国内最大規模の創造ネットワーク組織が、中之島エリア全体をユニークベニューとしての「創造的な実験島」に見立て、様々なクリエイティブコンテンツを開発・創出していきます。本格始動となる2021年度はシンボルシンポジウムを含む13のプログラムによって、取り組みを発信します。新型コロナウイルスによって世界が一変しましたが、文化と経済の両輪による持続可能な都市のリブランディングによって、ニューノーマル時代にふさわしい、“世界中の人々が訪れ集うクリエイティブなまち中之島”を目指します。これからの創造的な未来にご期待ください。

クリエイティブアイランド 中之島 ―創造的な実験島―

2022年2月2日（水）–13日（日）

Creative Island Nakanoshima

wed. 2

エクスチェンジプログラム vol.1
こども本の森 中之島×大阪市東洋陶磁美術館

こども本の森 おとなのナイトツアー ＆トーク

東部エリアにある中之島通が歩行者空間となり生まれ変わりました。通りに面するこども本の森と東洋陶磁美術館それぞれの館長が、中之島通のにぎわいや今後の展開について語り合います。トーク終了後はこども本の森を自由に見学し、読書をお楽しみください。

〈実来場〉
登壇者｜
伊藤真由美（こども本の森 中之島 館長）、
出川哲朗（大阪市立東洋陶磁美術館 館長）
日時｜2月2日（水）18:00–20:00（受付・開場17:45）
会場｜こども本の森 中之島　料金｜1,000円
定員｜50名（要事前申込・先着順）　主催｜こども本の森 中之島

tue. 8

エクスチェンジプログラム vol.4
大阪府立国際会議場×graf×
コンラッド大阪×リーガロイヤルホテル

中之島ラグジュアリーナイト／ツアー＆クルージング

中之島は大阪の中でも水辺に輝く夜景が魅力の一つでもあります。MICEの観点から、都市風景を活用したおもてなしの可能性について語ります。夜の中之島を船で巡り、非日常空間でのトークと景色をご堪能ください。

〈実来場〉
登壇者｜
芳賀貴臣（株式会社大阪国際会議場 営業部長）、
服部滋樹（graf 代表取締役社長）、
福島正晴（リーガロイヤルホテル 総支配人室 室長）、
細川亜子（リーガロイヤルホテル 総支配人室 課長代理）、
山田恵以子（コンラッド大阪 営業部副部長 婚礼統括支配人）、
吉田公司（一本松海運株式会社 営業部 課長／イベント企画室 室長）
日時｜2月8日（火）18:30–20:00（受付・開場18:00）
集合場所｜大阪国際会議場前港
クルーズ｜大阪国際会議場前港より、
堂島川（大阪国際会議場前～大阪市中央公会堂前）往復
トーク会場｜大阪府立国際会議場12階ホワイエ
料金｜3,500円　定員｜40名（要チケット購入・先着順）
主催｜一本松海運株式会社、
クリエイティブアイランド中之島スタディーズ共同企業

thu. 3

中之島プロモーション
DOMMUNE×クリエイティブアイランド中之島

宇川直宏ディレクション NAKANOSHIMA PERFORMING SCAPE

記念すべき「中之島プロモーション」第一弾は、アーティストの宇川直宏氏とボーカリストSalyu氏による三部作です。近代建築、高層ビルの夜景、川から望む中之島を舞台にした映像と音楽によるクリエイションの秘話と上映を交えたスペシャル鼎談をお届けします。

〈オンライン配信〉
登壇者｜
宇川直宏（“現在美術家”／DOMMUNE主宰）、Salyu（ボーカリスト）、
木ノ下智恵子（大阪大学21世紀懐徳堂准教授）
日時｜2月3日（木）20:00–22:00
料金｜無料・申込不要

wed. 9

中之島プロモーション
北浜テラス×クリエイティブアイランド中之島スタディーズ

川床から眺める 中之“島”の魅力

中之島の対岸に位置する北浜には、川床を併設した店舗が並ぶ北浜テラスがあります。国内初の川床の常設化を実現した北浜テラスの店舗や中之島の文化施設が集い、北浜テラスの成り立ちや水陸連携による新たな可能性などについて対話を繰り広げます。

〈実来場〉
登壇者｜
北浜テラス運営者の皆様、CI中之島プロジェクトメンバー
日時｜2月9日（水）18:30–20:00（受付・開場18:15）
会場｜MOUNT kitahama
料金｜1,500円（1ドリンク付）　定員｜20名（要事前申込・先着順）
主催｜クリエイティブアイランド中之島スタディーズ共同企業体、
北浜水辺協議会、水都大阪コンソーシアム
〈オンライン配信〉
料金｜無料・申込不要

fri. 4

中之島プロモーション
大阪中之島美術館開館記念公演
人間浄瑠璃『新・饒影綺譚』関連企画

森村×勘十郎 ＋ 森村×正剛 対談

大阪中之島美術館の開館記念企画である森村泰昌×桐竹勘十郎による創作公演に関するスペシャルトークを配信します。第一部は、美術と文楽があやなす創作劇の源について、第二部は、蝉丸、近松門左衛門、近世から脈打つ創造の醍醐味について、熱く語ります。

〈オンライン配信〉
登壇者｜
森村泰昌（美術家）、桐竹勘十郎（人形浄瑠璃文楽人形遣い）、
松岡正剛（編集工学者、編集工学研究所所長、角川武蔵野ミュージアム館長）
日時｜2月4日（金）19:00–22:00
料金｜2,000円（要チケット購入）
主催｜森村桐竹人間浄瑠璃プロジェクト実行委員会

thu. 10

エクスチェンジプログラム vol.5
大阪市立科学館×大阪市立東洋陶磁美術館

色と形をさぐる
企画展「色と形のふしぎ」関連トークイベント

私たちの周囲には、その特徴的な色と形から美しさや不思議さを感じる物が数多くあります。科学館の企画展「色と形のふしぎ」にちなみ、天目茶碗に見られる構造色の謎や、注目の展示品の紹介を通して、美に潜む科学を紹介します。

〈実来場〉
登壇者｜
小林仁（大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長代理）、
大倉宏（大阪市立科学館主任学芸員）
日時｜2月10日（木）14:00–15:30（受付・開場13:45）
会場｜大阪市立科学館・多目的室
料金｜無料 ※企画展の観覧には、科学館展示場の通常入場料が別途必要
定員｜25名（要事前申込・先着順）　主催｜大阪市立科学館

お申し込み・オンライン配信

http://nakanoshimalab.jp

「要事前申込」のプログラムは、上記よりお申し込みください。
※各プログラムとも定員に達し次第、受付を終了いたします。※内容は予告なく変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

fri. 11

シンボルシンポジウム

Symbol Symposium

中之島の“いま”と“みらい” ～都市の創造性、持続可能なネットワークモデル～

中之島は魅力的なコンテンツが集積する“まち”でありながら、大阪の中でもいわゆる「キタ」や「ミナミ」と呼ばれる地域に比べて実はあまり知られていないエリアでもあります。2019年に設立した「クリエイティブアイランド中之島」は本格始動となる本年、開館まもない大阪中之島美術館にて、多彩な分野からゲストを迎え“みらい”、“まなび”、“くらし”をテーマとした3部構成のシンポジウムを開催し、あらゆる視点から中之島の今を紐解き、今後の展望を描きます。そして、2025年開催の大阪・関西万博を見据え、将来を考える手がかりに本事業の憲章的なるビジョンについて、対話による創出を試みます。

全体進行｜木ノ下智恵子（実行委員会、大阪大学21世紀懐徳堂准教授）
主催｜クリエイティブアイランド中之島実行委員会

〈実来場〉
日時｜2月11日（金・祝）13:00–18:30　会場｜大阪中之島美術館 1階ホール
料金｜1,000円　定員：100名（要チケット購入・先着）※美術館の観覧チケットではありません
〈オンライン配信〉https://nakanoshimalab.jp（無料・申込不要）

第一部　13:00–15:00「“みらい”の中之島」

第1部はメインシンポジウムとして、大阪の文化特区を目指す中之島の可能性について対話を繰り広げます。「“みらい”の中之島」ではCIMAM（国際美術館会議）会長で森美術館館長の片岡真実氏をゲストに迎え、国際的な観点からの都市創造や国際事業の意義、コロナ禍における芸術文化の課題と展望について、本事業の西尾委員長をはじめとする実行委員メンバーと共に中之島の将来構想を描きます。

登壇者｜
片岡真実（森美術館館長、国際美術館会議会長）
西尾章治郎（実行委員長、大阪大学総長）
島敦彦（実行委員会、国立国際美術館館長）
菅谷富夫（実行委員会、大阪中之島美術館館長）
福島伸一（実行委員会、株式会社大阪国際会議場 代表取締役社長）

第二部　15:15–16:45 「“まなび”の中之島」

中之島は大人のリカレント教育の場はもとより、こども本の森 中之島の開館に伴う未来の担い手たちに至るまで、様々な人々に開かれた“知と感性・好奇心を育む島”として期待されています。「“まなび”の中之島」ではSTEAM教育家で大阪・関西万博のプロデューサーでもある中島さち子氏をゲストに迎え、中之島の教育の場としての可能性について対話を繰り広げます。

登壇者｜
中島さち子（ジャズピアニスト、数学教育者、steAm Inc.代表取締役社長）
嘉数次人（実行委員会、大阪市立科学館 学芸課長）
小林仁（実行委員会、大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長代理）
服部滋樹（実行委員会、graf代表取締役社長）

第三部　17:00–18:30「“くらし”と中之島」

歴史的建造物や文化施設、企業ビル、そして公園や水辺など文化資産に満ちた島である中之島は、消費者や一般生活者の視点で見るとどのような存在でしょうか。「“くらし”と中之島」では、関西のまちの情報を深く知るSAVVY編集長の竹村匡己氏と朝日新聞の桝井政則をゲストに迎え、メディア、パブリシティーの観点から中之島の日常における創造性について対話します。

登壇者｜
竹村匡己（エルマガジン社 SAVVY編集長）
桝井政則（朝日新聞大阪本社生活文化部長）
伊藤真由美（実行委員会、こども本の森 中之島館長）
勝盛典子（実行委員会、中之島香雪美術館館長）
岸田文夫（実行委員会、中之島まちみらい協議会代表幹事）

Special Week Program

sat. 5

エクスチェンジプログラム vol.2
大阪中之島美術館×graf

デザインコレクションを語るギャラリーツアー ＆トーク

国内有数のデザインコレクションを誇る大阪中之島美術館と、中之島を拠点に、家具・デザイン・アートなどクリエイティブな活動を展開するgrafが、開館記念「超コレクション展」の会場等でデザイン作品の魅力を語ります。

〈実来場〉
登壇者｜
平井直子（大阪中之島美術館主任学芸員）、
服部滋樹（graf代表取締役社長）
日時｜2月5日（土）17:00–20:00（入場受付16:00～16:30）
会場｜大阪中之島美術館、graf porch
料金｜2,500円（展覧会観覧料含む・要チケット購入）
定員｜20名（要事前申込・先着順）
主催｜大阪中之島美術館、graf

thu. 10

エクスチェンジプログラム vol.6
JST×大阪大学×大阪市中央公会堂

サイエンスアゴラ in 大阪 ラウンドテーブル
Dialogue for Life
～コロナ禍を生きる私たちの未来に向けて～

新型コロナウイルスの影響による自粛生活や働き方の変化をきっかけに、私たちは自身の仕事や生活、価値観と深く向き合うことになりました。2年の感染拡大の長期化が私たちにもたらしたものとは何か？多様な人々が語り合うラウンドテーブルを開催します。

〈実来場〉
日時｜2月10日（木）18:30–21:00（受付・開場18:00）
登壇者｜
石黒浩（大阪大学栄誉教授、大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー）、
玉川弘子（大阪商工会議所地域振興部長 兼万博協力推進室長）、
熊谷晋一郎（東京大学 先端科学技術研究センター准教授）※オンライン参加
ほか
会場｜大阪市中央公会堂 中集会室
料金｜無料　定員｜100名（要事前申込・先着順）
主催｜大阪大学21世紀懐徳堂
〈オンライン配信〉2月10日（木）18:30–21:00

sun. 6

エクスチェンジプログラムvol.3
大阪中之島美術館×中之島まちみらい協議会

近現代の諸写真＋絵画と巡る中之島 リバークルーズツアー

中之島は、近世以降に人々の営みにより発展した島です。明治・大正・昭和の中之島の絵はがきや写真、大阪中之島美術館の所蔵作品に描かれた風景を読みときながら、中之島を船で巡ります。中之島の今と昔を見比べ、まちづくりとアートの観点からのトークと風景をお楽しみください。

〈実来場〉
登壇者｜
菅谷富夫（大阪中之島美術館 館長）、
岸田文夫（中之島まちみらい協議会 代表幹事）
日時｜2月6日（日）15:00–16:00（受付・開場14:30）
集合場所｜八軒家浜船着場
ルート｜大阪水上バス「アクアCielo（シエロ）」にて八軒家浜船着場より中之島を一周
料金｜3,500円　定員｜40名（要チケット購入・先着順）
主催｜クリエイティブアイランド中之島スタディーズ共同企業 他

sat. 12

中之島プロモーション

ギャラクティック運輸 presents 京阪バザール電車

“京阪バザール電車”は、アートエリアB1で開催中の鉄道芸術祭を記念して、走行する電車を街の通りに見立て、アーティストをはじめ様々な人・モノ・コトが出店する貸切電車です。普段は体験できない特別列車をお楽しみください。

〈実来場〉
日時｜2月12日（土）14:54–16:22（14:00–14:30受付）
会場｜京阪電車貸切車内（中之島駅発～樟葉駅折返し～なにわ橋駅着）
料金｜一般：5,000円（4,000円分の買物券付）／
学生：3,000円（2,000円分の買物券付）
定員｜150名（要チケット購入・先着）　主催｜アートエリア B1

mon. 7

中之島プロモーション
岡田利規×graf　アーティストトーク

ミーティングポイントから読み解く中之島

国内外で活躍するアーティストによって創作コンテンツを繰り広げる「中之島プロモーション」。今年は、世界で活動する演劇カンパニー・チェルフィッチュ主宰の岡田利規氏を迎え、ミーティングポイントを活用したクリエーションの可能性を探ります。

〈オンライン配信〉
登壇者｜
岡田利規（劇作家・チェルフィッチュ主宰）、
服部滋樹（graf代表取締役社長）
日時｜2月7日（月）19:00–20:30
料金｜無料・申込不要

sun. 13

エクスチェンジプログラム vol.7
こども本の森 中之島×
中之島まちみらい協議会

みんなでつくろう なかのしマップ

中之島は近世以降に人々の営みによりつくられ、これまで多くの歴史や文化が受け継がれてきた島です。クリエイティブアイランドを締めくくるプログラムは、未来を担うこどもたちが、これからの中之島のすがたを想像し自由な発想で描き出します。

〈実来場〉
日時｜2月13日（日）13:30–15:00（13:00受付・開場）
会場｜こども本の森 中之島
料金｜500円　定員｜30名（要事前申込・先着順）
※小学校4–6年生限定
※一組につき、付き添いの保護者は2名まで
主催｜こども本の森 中之島、中之島まちみらい協議会